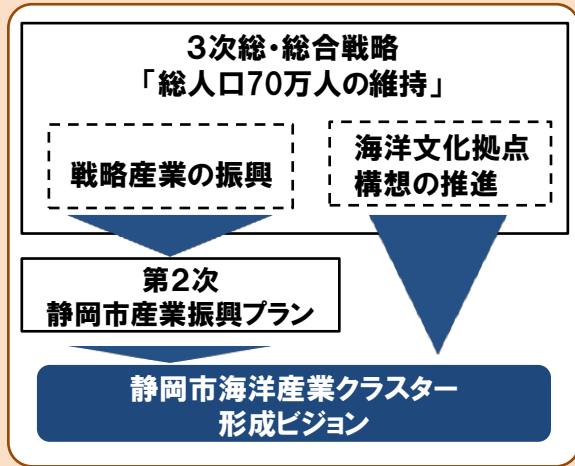


【概要版】静岡市海洋産業クラスター形成ビジョン

【ビジョンの基本的事項】

<ビジョンの位置づけ>



<ビジョンの期間>

2017(H29)～2030(H42) 年度

【海洋産業を取り巻く動向】

- 政策的要因
 - ・海洋基本計画における「海洋産業の振興・創出」の位置づけ
 - ・欧州を中心としたHACCP取得への対応強化
- 経済的要因
 - ・GDP600兆円を支える成長産業としての期待
 - ・海洋資源・エネルギーに対する期待
- 社会的要因
 - ・海外における和食ブーム到来
 - ・世界的エネルギー不足への対応
 - ・環境汚染防止、持続可能性への対応
- 技術的要因
 - ・海洋資源実用化に向けた研究開発の加速
 - ・世界的排ガス規制に対応した新たな船舶・エンジン等の開発ニーズ

【静岡市のポテンシャル】

- 海洋関連企業の集積
(水産加工業、造船・船用工業 等)
- 海洋関連研究機関の集積
- 目の前に広がる日本最深の駿河湾
- 充実した交通インフラ(陸・海・空)

【目指す姿】

静岡市から世界へ飛躍する、海洋新産業創出 ～海洋産業・研究の「ゲートウェイシティ・静岡」の実現～

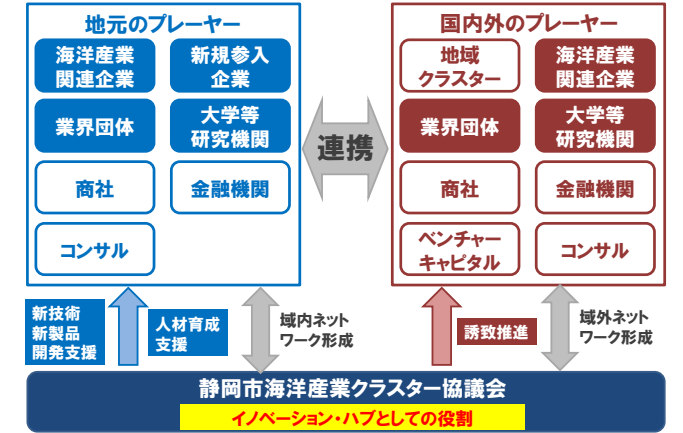
【基本方針】

- ① 地元企業による新技術・新製品開発の支援
- ② 関連企業や大学等研究機関の集積推進
- ③ 海洋産業人材の集積・育成の推進
- ④ 広域ネットワークの形成

【取組の方向性】

- ★“出会い”から“事業創出”までを支援するプログラムの提供
- ★協力関係だけではない“競争環境”の提供 等
- ★静岡市の魅力を伝える効果的な情報発信
- ★静岡市ならではの海洋産業の構築
- ★教育対象の階層に応じた育成プログラムの提供
- ★地域外プレイヤーとのネットワーク構築
- ★異分野産業とのネットワーク構築

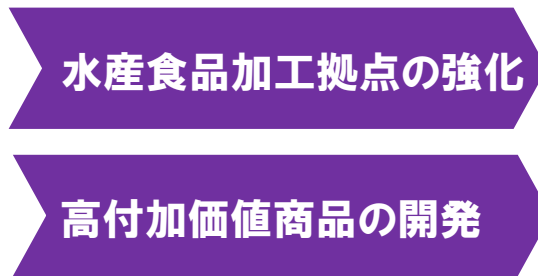
【推進体制(イメージ)】



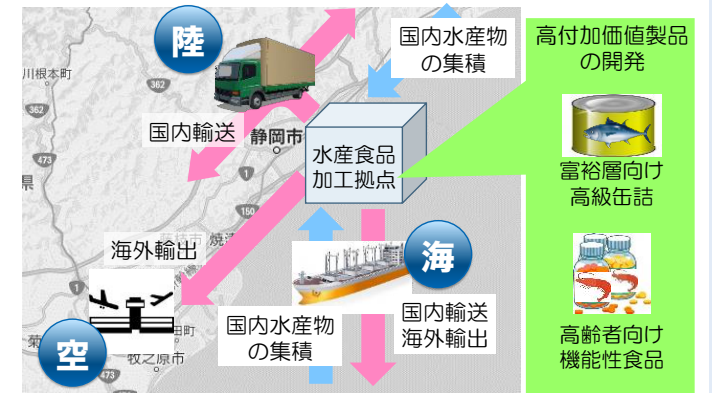
【ターゲット分野】

市内産業の優位性や市場・政策動向等を加味し、静岡市として注力すべき有望な産業分野を選定

①水産食品加工・養殖分野



- フェイズ1(2017～2020)
- ・研究開発プロジェクトの立上げ、事業化
 - ・HACCP取得に関する啓蒙活動・支援 等
- フェイズ2(2021～2030)
- ・HACCP取得に関する支援
 - ・国際展示会等への出展支援 等



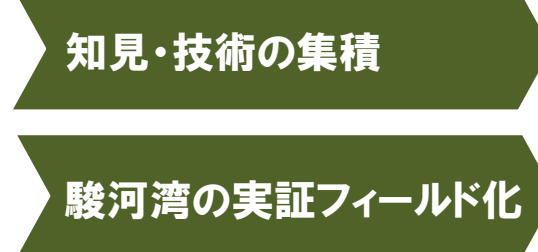
②船舶・船用機器分野



- フェイズ1(2017～2020)
- ・異業種企業を含めた研究会の設立
 - ・研究開発プロジェクトの立上げ、事業化 等
- フェイズ2(2021～2030)
- ・継続的な事業化支援
 - ・国際展示会等への出展支援 等



③海洋資源探査・開発分野



- フェイズ1(2017～2020)
- ・関連学会等の誘致
 - ・企業、研究機関による勉強会の開催 等
- フェイズ2(2021～2030)
- ・研究開発プロジェクトの立上げ
 - ・駿河湾の実証フィールド化に向けた協議 等

